

個別施設計画

策定年月 H31.1

施設名	津山児童相談所		所在地	津山市山北288－1	
敷地面積	1, 315. 00 m ²		棟数	4棟（計画記載対象 1棟）	
延床面積	597. 15 m ²			※対象は200㎡以上の建物（車庫、倉庫等は500㎡以上） ※公舎・寮は全て対象	
設置目的	児童福祉法第12条に基づく児童相談所 知的障害者福祉法第12条に基づく知的障害者更生相談所(支所)				
【想定される自然災害】					
予想震度 5弱		津波 —		浸水 —	
建築規制	非線引き都市計画区域 第二種中高層住居専用地域、建ぺい率60％ 容積率200％				
エネルギー使用量 (2017 年度)	電気 28,000 kwh	ガス 0 m ³	水道 370 m ³	燃料 (－) － ℓ	
管理上の 特記事項	敷地内未利用地:なし 敷地内貸付地:なし				

1 施設内建物の概況

名 称	メイン棟
築年(西暦)	1988 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 2 階
建築面積	302.94 m ²
延床面積	533.88 m ²
主要な用途 (室名等)	事務室 2室(73.71m ²) 相談室 3室(42.75m ²) 判定室 4室(59.09m ²) 一時保護所 6室(93.68m ²) 会議室 1室(52.65m ²)
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備(給湯器)
利用状況	高
耐震性 ※1	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※2	—
※耐震診断済のみ ※3	—
長期使用の 適否 ※4	適
※5	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≥0.6(震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適

※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適

※4 傾斜が有る場合は不適

※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1)施設全体の方針

業務の性質上、単独事務所としての運用が望ましい。また、児童相談所の体制強化を実施するためには、現在の執務室では十分な職場環境が保てないため、部屋の再配置を行い間仕切壁等改修を行うとともに、劣化が進んでいる設備等の更新・修繕・改修を行い、使用を継続する。

(2)建物ごとの方針

区分	対応方針
メイン棟	間仕切壁等改修を行うとともに、設備等の更新・修繕・改修を実施する。

3. 施設全体のスケジュール

(概 要)

間仕切壁等改修を行うとともに、劣化が進んでいる設備等について、順次更新等を行う。

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
メイン棟	設備等の 定期更新 (修繕・改修を含む)			自動火 災報知 設備					屋根・外壁		
									エアコン		
									照明LED化		
	間仕切壁等改修				間仕切壁等改修工事施工						

4. 概算費用

--

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R2.1	メイン棟の対応方針を「増築」から「間仕切壁等改修」に変更
R5.2	設備等の定期更新(屋根・外壁)のスケジュールを変更
R6.1	メイン棟の設備等の定期更新(照明LED化)を追加
R7.3	メイン棟の設備等の定期更新(照明LED化)のスケジュールを変更